

しょうわ いだい あとうはくみ けんしょう  
**昭和を代表する偉大な漢詩人「阿藤伯海」顕彰の地**

ここう つらぬ いだい ゆうし ちいき  
 孤高を貫いた偉大な漢詩人阿藤伯海を顕彰するため、その弟子や有志、地域の協力のもと2006年1月に「阿藤伯海記念公園」として開園しました。

おもむき かいしゅう あとうはくみ きぎゅうきよ きびのまきび ぜっぴつ し  
 伯海先生の生家を当時の趣のまま改修した「阿藤伯海旧居」を中心として、東に吉備真備を顕彰した絶筆の詩碑などがある「記念広場」、西に遥照山系を望む展望のよい梅園として整備された「流芳の丘」があります。

あとうはくみ ふうせいの ちいき  
 伯海先生が好んだ梅をはじめ、四季を通じて様々な花木があり、四季の風情を楽しむことができます。

あとうはくみ せんじ  
 旧居には伯海先生にゆかりの深い品々が多く展示されています。

◆ **施設のおすすめ**

あとうはくみ かいしゅう あとうはくみ きぎゅうきよ きびのまきび ぜっぴつ し  
 伯海先生が所持し愛読されていた書物や、直筆の掛軸が2幅、色紙が1枚展示されており生前の息吹をその筆跡から感じ取ることができるとともに、青年・壮年時代の若かりしころの写真も見ることができます。

また、建物自体も貴重なもので、幕末から明治にかけて建てられた母屋、伯海先生がよく利用されていた居間、思索に耽っていた離れ、蔵、門があり歴史的空間を今に残しています。鴨居や屋根裏なども見て他の家屋と違った面白い発見があると思います。

蔵として利用されている「大簡室」には江戸時代の漢詩人として著名な「頼春水」「菅茶山」「頼山陽」の屏風も展示されています。

◆ **子どもたちへのメッセージ**

あとうはくみ せいふく  
 伯海先生が生まれ育ち過ごしたこの場所で、どのようなことを思い、何を考えておられたのか。

あとうはくみ せいふく  
 当時の写真や、趣のある建物、愛想品の数々、直筆の掛軸とその意味、四季を通して彩豊かな草花、流芳の丘から望む風景を、見て聞くことで伯海先生の思いについて考えてもらえると、嬉しいです。



おもや  
**母屋の様子**



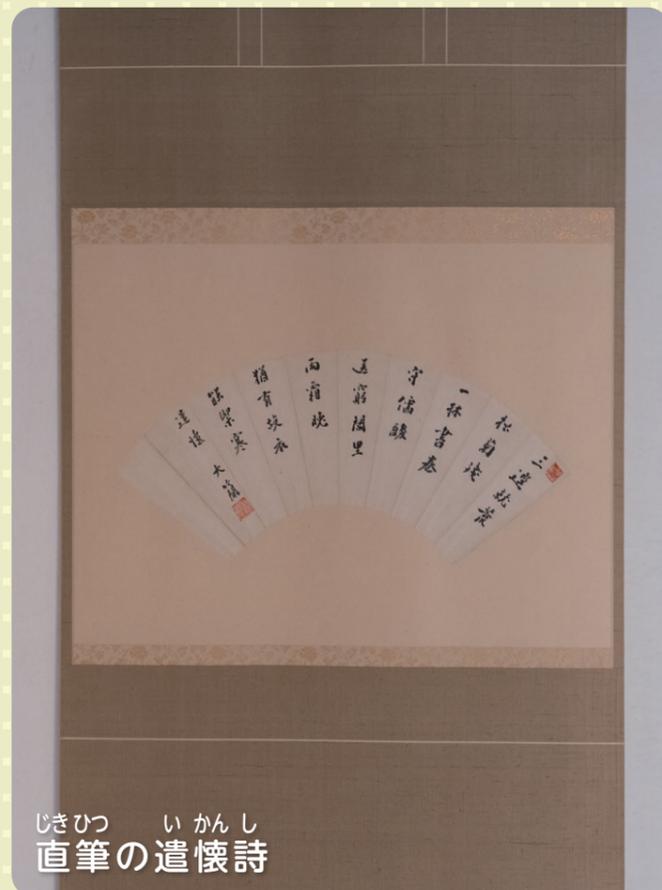
らいしゅんすい ひだり らいさんよう みぎ びょうぶ  
**頼春水(左)と頼山陽(右)の屏風**



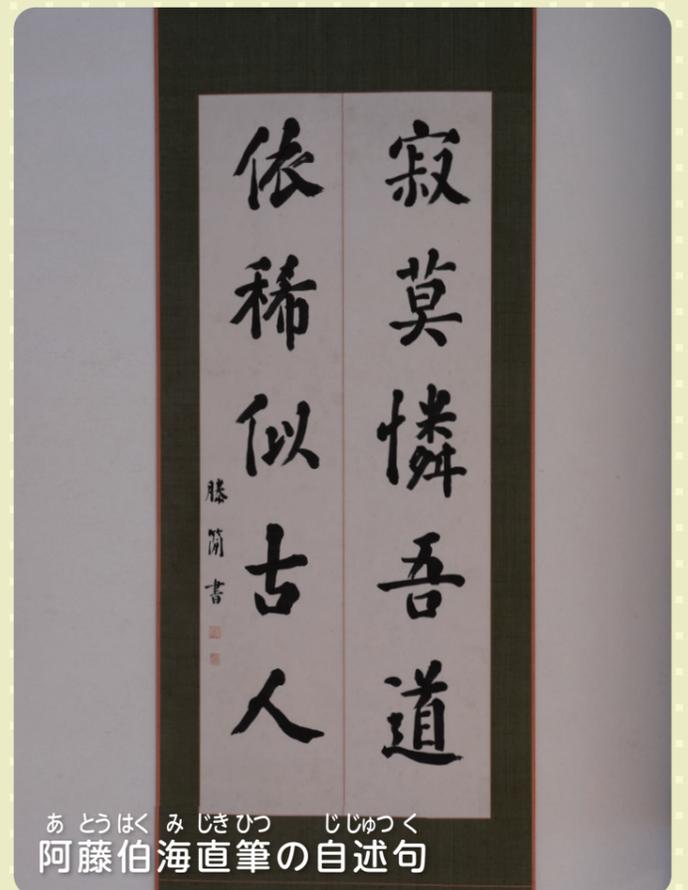
はくみ しょう しょうせき  
**伯海先生所蔵の書籍**



いま  
**居間の様子**



じきひつ いかんし  
**直筆の遣懐詩**



あとうはくみ じきひつ じじゅうく  
**阿藤伯海直筆の自述句**